



越谷市

令和6年（2024年）10月16日

報道機関 各位

麻しん(はしか)患者の発生に伴う注意喚起について

令和6年10月16日（水）、市内において麻しん患者の発生を確認しました。
当該患者は、海外渡航歴が確認されておらず、感染源が不明となっております。
麻しんを疑う症状が現れた場合には、速やかな医療機関の受診をお願いします。
医療機関受診の際は、医療機関に事前に連絡したうえで、マスクの着用を徹底いただき、周囲の方へ感染を拡げないように、公共交通機関等の利用は避けてください。

記

【患者の概要】

30歳代 男性

発症日：令和6年10月4日（金）

発生届出日：令和6年10月15日（火）

検査確定日：令和6年10月16日（水）

主な症状：発熱、倦怠感、咳、結膜充血、発疹

麻しん予防接種歴：不明

- ※ 保健所において疫学調査を実施し、接触者（同一空間で20分以上の接触があった者）の健康観察を実施しています。現在までに接触者が発症したとの情報はありません。
- ※ 患者本人は公共交通機関を使用しておらず、接触者以外の不特定多数との長時間の接触は確認されていません。

【市民の皆様へ】

- 麻しんは、感染力が極めて強い感染症で、免疫のない人が感染すると、年齢を問わずほとんどが発病します。
- 感染すると10日から12日の潜伏期間（症状のない期間）を経て、38℃程度の発熱、風邪のような症状（咳や鼻水など）が現れ、2～3日間続きます。
その後、39℃以上の高熱となり、体中に赤い発疹が出現します。
- 症状や経過から「麻しん」が疑われる場合は、事前に医療機関に「麻しんかもしれない」ことを連絡し、必ずマスクを着用して速やかに受診してください。

- 麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる病気であり、空気感染、飛沫感染、接触感染でヒトからヒトに感染が伝播するため、換気の徹底が重要です。
- また、有効な予防方法はワクチン接種です。2回接種による免疫獲得率は97～99%以上と報告されており、発症リスクを最小限に抑えることが期待できます。
麻しんの定期予防接種（第1期：1歳児、第2期：小学校就学前の1年間）をまだ受けていない方は、かかりつけ医に相談し、早めに予防接種を受けましょう。

【報道機関の皆様へ】

- 本情報提供は、感染症の拡大防止のために行うものですので、報道機関各位におかれましては、患者等の個人に係る情報について、プライバシー保護等の観点から、提供資料の範囲内での報道に、格段の御配慮をお願いします。

<参考情報>

- ・埼玉県ホームページ「麻しん及び風しん流行情報」

<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/masinn.html>

- ・厚生労働省ホームページ「麻しんについて」

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html

- ・国立感染症研究所ホームページ「麻しんとは」

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/518-measles.html>

【問い合わせ】

越谷市保健所 感染症保健対策課
課長 山越 陽子

電話048-973-7531（直通）